

第212回スポーツサイエンス研究会

日時 2021年11月12日(金) 13:00 より
ZOOMを用いたオンライン形式

研究会会場

ミーティングID: 929 4244 1225
パスコード: 690088
URL: 案内メールに記載

演題 時間制約下での運動意思決定: 行動データに基づく意思決定の最適性評価

女川 亮司
(早稲田大学 理工学術院)

限られた時間の中で行動を選択し実行することは、日常的な場面からスポーツ特有の場面まで共通して求められる。例えば、サッカーでパスをする相手を選択する状況など、多くのスポーツ場面では、数秒ないしは1秒以下の厳しい時間制約の中ですばやく行動を選択する必要があり、その選択は勝敗を決める一因ともなる。このような状況では、意思決定速度や運動精度などの自分自身の能力を考慮に入れて、適切な行動を選択することが重要である。しかしながら、われわれの一連の研究では、多くの参加者が共通して、選択する時間的余裕がない状況でも選択をしようとしてしまい、結果として獲得できる報酬の期待値を低下させてしまう認知バイアスをもつことが示されてきた。本発表では、それらの研究の中で用いてきた最適性の定量化手法を紹介すると共に、認知バイアスの発生機序や、その機能的な意義についての現考察を紹介する。

